

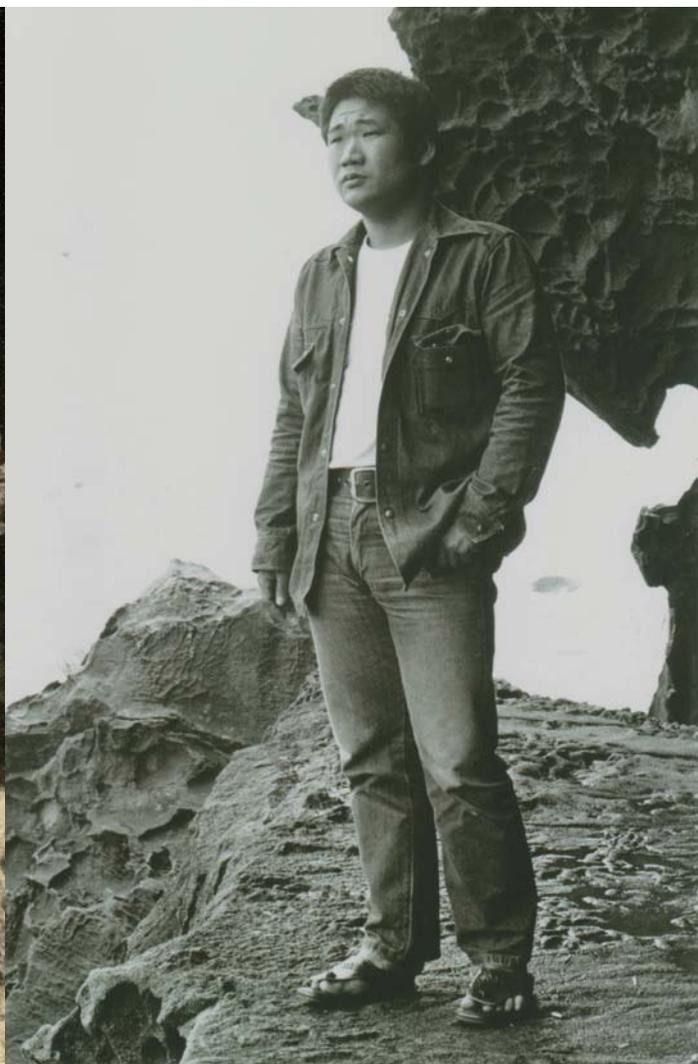
三重県立図書館 文学コーナー企画展



熊楠、健次、そして熊野



画像提供 南方熊楠顕彰館(田辺市)



画像提供 中上紀 撮影 高橋一清

平成30年

11月1日(木) - 12月4日(火)

三重県立図書館 2階 文学コーナー

開館時間 9:00-19:00 ※11月30日(金)は17:00まで

休館日 11月5日、12日、19日、26日 (いずれも月曜日)

お問い合わせ TEL 059-233-1181

主催 三重県立図書館 共催 三重県生涯学習センター

協力 南方熊楠顕彰館、中上健次資料収集委員会

熊楠、健次、そして熊野

熊野が生んだ2人の巨人、南方熊楠と中上健次。熊楠は生誕150年にあたる昨年、国立科学博物館で企画展が開催され、再び脚光を浴びました。そしてその熊楠を、健次は強く意識していたと言われています。

三重県立図書館では、この2人をテーマにしたセミナー「南方熊楠 × 中上健次 ～そして、熊野～」の開催に合わせて、2人の生涯や功績、さらには熊野と文学の関わりを紹介する企画展を開催します。

展示では、2人の著作や書簡、愛用品のほか、熊野ゆかりの文学作品など約90点を展示します。この企画展が、熊野の魅力を感じていただく機会になればと思います。



南方 熊楠

みなかた くまぐす

画像提供 南方熊楠顕彰館 (田辺市)

博物学者、民俗学者。1867年和歌山県和歌山市生まれ。1887年から1892年にかけてアメリカ、キューバで植物を収集。さらに渡英し、大英博物館図書室の資料を中心にさまざまな国の文献から情報を収集。1900年に帰国後は和歌山県的那智勝浦や田辺に暮らし、植物等の採集・研究を行うとともに、紀州の伝承や風俗を記録した。また明治政府が押し進める神社合祀に反対し、自然や史跡の保護、共同体の継承を訴えたことでも知られる。著書に『十二支考』『南方随筆』など。1941年12月逝去。



中上 健次

なかがみ けんじ

画像提供 中上健次資料収集委員会

作家。1946年和歌山県新宮市生まれ。和歌山県立新宮高等学校を卒業後上京し、文芸同人誌「文藝首都」に入会。肉体労働に従事しながら、喫茶店などで小説を書いた。1976年、故郷を舞台にした作品「岬」で芥川賞を受賞。その後も自身の生い立ちや熊野をテーマにした作品を発表し続ける。1990年には、新宮市において市民大学「熊野大学」を開講し、熊野とは何かを問い続けた。著書に『岬』『枯木灘』『紀州 木の国・根の物語』『千年の愉楽』など。1992年8月逝去。

同時開催

三重のまなび 2018 まなびいすとセミナー

南方熊楠 × 中上健次

～そして、熊野～

平成30年12月1日(土) 13:30 - 16:00

会場 三重県男女共同参画センター フレンテみえ
多目的ホール (三重県総合文化センター内)

講師 田村義也氏 (南方熊楠顕彰会学術部長)
中上紀氏 (作家)
三石学氏 (みえ熊野学研究会運営委員長)

受講料 無料 (全席自由)

申込方法 事前申込制・先着順

お問合せ 三重県生涯学習センター

TEL : 059-233-1151

(窓口受付時間 9:00-19:00)

詳細・お申込



交通のご案内

三重県総合文化センター 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

- 鉄道 近鉄・JR 津駅下車
- バス 津駅西口から約5分
- 徒歩 津駅西口から約25分
- タクシー 津駅西口から約5分
- 自家用車 伊勢自動車道津インターから約10分、芸濃インターから約15分